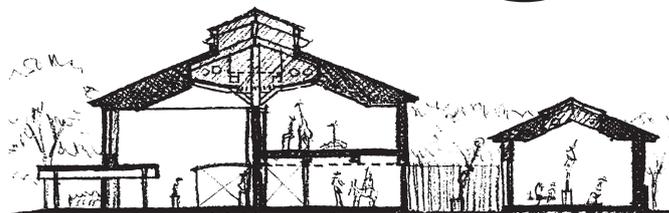




あさご芸術の森美術館  
— 淀井敏夫記念館 —

2024/12  
第77号

美術館だより  
友の会だより



三宅一樹「素脚詞Ⅲ」(2002年)／木曾檜・樺／H150×W35×D80cm  
第1回あさご芸術の森大賞展(2002年)準大賞作品

宙に投げ出された女子の脚…“若さ”という特権のもとで発揮する瑞々しさ、しなやかさの魅力を、木曾檜という繊細緻密な素材を用い表現しました。(制作意図から引用)

# ASAGO BIENNALE 第1回 あさごビエンナーレ2024

## 大賞は椿野聖梨さんの「曲がり道」

「第1回あさごビエンナーレ2024」を、9月21日(土)から10月27日(日)まで、美術館2階企画展示室で開催しました。

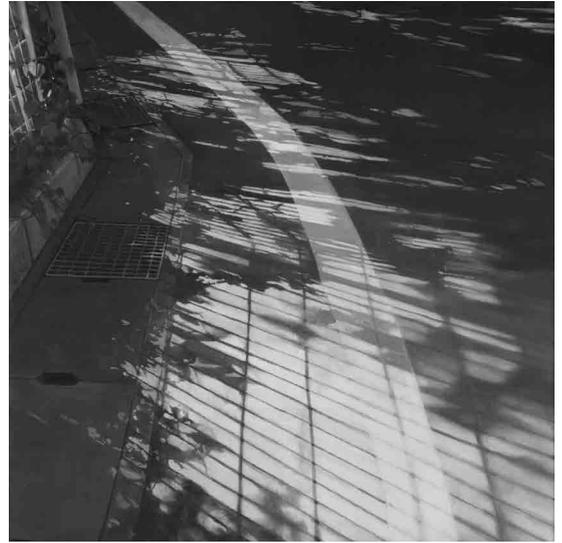
同展は、「朝来2001野外彫刻展in多々良木」「あさご芸術の森大賞展」「あさごアートコンペティション」に続く第4ステージの公募展です。時代の変化に合わせて形を変えて発展的に芸術界に貢献することや、若手作家の支援を目的として、2024年度、新たに立ち上げました。平面作品と立体作品を毎年交互に募集する形としています。

今回は8号サイズ以内の平面作品を募集。全国25都道府県の111人から油彩画、日本画、写真、ミクストメディアなど様々なジャンルの作品151点が寄せられました。

9月11日(水)に、坂上義太郎(美術評論家)、平田オリザ(芸術文化観光専門職大学学長・劇作家・演出家)、織作峰子(写真家・大阪芸術大学教授)、椿野浩二(平面造形作家)の4氏によって、「現代アート」の視点で、厳正に審査が行われました。その結果、大賞には、椿野聖梨さん(朝来市)の「曲がり道」が選ばれました。椿野さんは、これまで朝来市が行う「～朝来からの風～朝展」絵画部門で大賞、「あさごアートコンペティション」で入選という受賞歴もある若手作家です。

なお大賞と優秀賞受賞の作家には、次年度以降、当美術館で個展(グループ展)を開催する権利が付与されます。

優秀作品の展覧会では、入賞入選作品62点を展示。観覧者からは「レベルが高く、バラエティに富んだ見応えのある展覧会だ」とのお声もいただきました。



大賞／椿野聖梨「曲がり道」

### <椿野聖梨さんの制作意図>

何気ない景色の中に潜む美しさを、その場に存在する物体の影の形を主に描くことで表現することを試みました。「曲がり道」は住宅地の中にある道です。すぐ先の大通りは車も人も多くにぎやかですが、一歩その道へ入れば途端に静かになります。その対比が心地よく感じられ制作しました。



優秀賞  
四宮龍「私風景2024(網を引く老人)」

### <四宮 龍さんの制作意図>

産業の発達とは、私たちに豊かな文化生活を与えてくれたものの、環境破壊や大気汚染などで私たちの生活を蝕んでいることは悲しいことです。

そこで、海の問題に焦点を絞り、海岸に漂着している流木や廃材を利用して作品化することで、私の中にあるもの悲しさや寂しさを表現しました。



優秀賞  
オガワミチ「君に花束を」

### <オガワ ミチさんの制作意図>

私の制作テーマは曖昧な認識世界と自己を探るものです。

この作品は、恋心を題材に制作しています。赤と緑の補色で、花束と人物を半抽象的に表現。アクリル板の傷が立体感を生み、視点や時間で変わる見え方が、感情の揺れや自己の不確かさを映し出しています。

## 表彰式

第1回あさごビエンナーレ2024の表彰式を、展覧会最終日の10月27日(日)に美術館で開催。



表彰式



ギャラリートーク

第20回

# 全国こども絵画選抜展 2024

純粹で創造力たくましい絵画の数々が一堂に!

朝来市が毎年開催している「全国こども絵画選抜展」は、今回で20回目となります。「花と緑」「ふるさと」をテーマに作品を募集したところ、全国105の小・中学校、絵画教室から1,358点の作品が寄せられました。昨年に引き続き今回も、学校や教室で予め30点以内に選抜して応募いただいたので、応募作品数は例年に比べて少なかったものの、優れた作品がたくさん寄せられました。5人の審査員が、会場いっぱいには並べられた作品を何度も見て回りながら、描写のすばらしさ、表現の豊かさ、テーマに沿っているかどうかをポイントに審査し、100点の入賞入選作品を選定しました。

11月2日(土)から12月1日(日)まで、あさご芸術の森美術館で、入賞入選作品を展示。来館者からは、「自然体で自由な発想が素晴らしい」「全ての作品に個性が光っている」「小学生の発想の面白さと中学生の上手さにビックリです」などと感想が寄せられました。

また11月24日(日)には、展覧会場で表彰式を開催。家族の見守るなか、賞状を受ける子どもたちの表情は、とても輝いていました。来年も大勢のご応募をお待ちしています。

■審査員

- 椿野 浩二(平面造形作家)
- 栃原 敏子(現代美術アーティスト)
- 内藤 絹子(版画家)
- 西山まい美(染織家)
- 花房 完昇(画家)



ふるさと大賞・最優秀賞 / 「千年ふじ」  
吉田有沙(兵庫県神戸市立淡河小学校2年)



花と緑の大賞・最優秀賞 / 「ふるさと白花と蝶」  
西沢琴心(滋賀県愛荘町立秦荘中学校2年)



審査会場の朝来体育館いっぱいには並べられた応募作品



表彰式に参加した子どもたち

【朝来市内の入賞・入選者】(順不同)

- |                           |                        |
|---------------------------|------------------------|
| ◆朝来市長賞<br>清水智由樹 / 枚田小学校4年 | ◆入選<br>村上 大輝 / 糸井小学校6年 |
| ◆佳作賞<br>栗林 真凰 / 枚田小学校6年   | 大林ひより / 枚田小学校6年        |
| ◆森はな賞<br>長野 颯 / 糸井小学校1年   | 椿野 誉月 / 山口小学校4年        |
|                           | 高階 悠真 / 大蔵小学校4年        |
|                           | 田中 瑞希 / 梁瀬小学校3年        |
|                           | 田上 真幌 / 生野小学校1年        |

巡回展

▶アートホール神戸 **入場無料**  
▶2025年1月23日(木)~1月28日(火)  
※会場の都合により、50点程度の展示となります。

開催中の  
展覧会

# アート2025 干支展 巳

〈会期〉2025年1月13日(月・祝)まで 〈会場〉2階企画展示室

美術館の年末年始の風物詩ともいえる「アート干支展」は、26回目を迎えました。

今回のテーマは2025年の干支「巳」。当館にゆかりのある作家28人と1団体が、絵画、彫刻、工芸、書などそれぞれのジャンルで、バラエティ豊かに「へび」を表現しています。古来から「神聖」な存在、あるいは「邪悪」な存在として、いわば両極の扱いを受けている「へび」が、現代においてはどのように表現されるのか…ぜひ楽しんでご覧ください。

【出展者】(敬称略・50音順)

■平面

生野学園、大塚温子、貝塚理佐、工藤恵子、コウノ真理、上地拝碩、小西美佐子、佐々木博、書道家 華汀、高松富士子、椿野 彩、椿野浩二、内藤範子、藤原 護、藤原洋次郎、Pen<sup>2</sup>、松浪吉樹、松本知佳

■立体

坂口雅彦、佐々木紀政、蟬丸、田中喜典、寺田ひかり、中尾健二、花房さくら、藤本イサム、松尾 哲、松田政斗、吉岡武徳

開催中の  
展覧会

## 2025 干支絵手紙コンクール作品展

〈会期〉2025年1月13日(月・祝)まで

〈会場〉2階企画展示室

2025年の干支「巳」をテーマに絵手紙(はがき)を募集したところ、北海道から大分県に至る17都道府県の167人から233点の作品が寄せられました。審査によって入賞・入選41点を選定。本展では応募全作品を展示しています。

グランプリは、黄色いだるまの上に鏡餅を模した白蛇が載っている作品。正月に相応しいおめでたい図柄で、審査員から高い評価を受けました。

巡回展示 ※入賞・入選作品のみ展示します。

▶会期…2025年1月16日(木)～1月31日(金)

▶会場…生野メインホール



グランプリ・白井真佐代さん(岐阜県岐阜市)の作品

開催中の  
展覧会

## 美術館コレクション展 ～あさごアートコンペティションの軌跡～

〈会期〉2025年1月13日(月・祝)まで

〈会場〉1階企画展示室

朝来市が2012年から10回にわたって実施した「あさごアートコンペティション」の大賞作品(平面・立体・野外彫刻模型)に加え、「朝来2001野外彫刻展in多々良木」大賞・準大賞の野外彫刻模型など、美術館が所蔵する作品コレクション18点を展示しています。



これからの  
展覧会

## ～朝来からの風～朝展 2025

〈会期〉2025年1月25日(土)～3月2日(日)

〈会場〉2階企画展示室

朝来市誕生から毎年開催している朝展(市展)は、今回で20回目の節目を迎えました。絵画、書、立体・工芸、写真の4つの部門別に作品を募集し、審査により選定した優秀作品を展示します。



朝展2024の会場風景

## 募集 あさご芸術の森美術館友の会会員交流美術展

〈会期〉2025年2月15日(土)～3月2日(日) 〈会場〉1階企画展示室

毎年恒例のあさご芸術の森美術館友の会の会員による展覧会。会員の日ごろの創作活動の成果を披露するとともに、相互の交流を図ることを目的に開催します。現在作品を募集しています。ふるってご参加ください。

### ■応募要項

- ◇平面…絵画(日本画・油彩画・アクリル画・水彩画・ミクストメディア・版画・水墨画など)・書・デザイン・写真・俳句・短歌などでオリジナルなもの。  
※大きさ:展示壁面の横幅が一边120cm×高さ2m以内の空間利用で複数出品可。上下2段掛け展示可。壁面での展示に限る。
- ◇立体…彫刻・工芸(陶・染織・タペストリー・ガラス・人形・ちぎり絵・木工・竹細工・手芸・編み物・粘土細工ほか)などでオリジナルなもの。生花・盆栽など生物は不可。  
※大きさ:高さ200cm×幅200cm×奥行200cm以内で、人力で運べるものなら複数出品可。 ※壁面展示の場合は、横幅が120cm×高さ2m以内の空間利用。
- ◇出品料…上記サイズ以内は500円。ただし、直接搬入・搬出ができる出品者で、展示・搬出作業の手伝いが可能な人は無料。 ※作品の損害保険は個人で掛けること。
- ◇出品申し込み…2025年2月3日(月)まで
- ◇搬入…2025年2月13日(木)10:00～16:30/14日(金)10:00～12:00 ※委託搬入の場合は、2月13日(木)必着。作者が元払いで送ること。
- ◇搬出…2025年3月2日(日)16:00～17:00/3日(月)9:00～16:00 ※委託搬出の場合は、搬入時に着払い票を添付すること。

これからの  
展覧会

## 榎木孝明 水彩画展 ～スケッチ散歩～

〈会期〉2025年3月15日(土)～5月6日(火・祝) 〈会場〉2階企画展示室

俳優・榎木孝明さんの水彩画展です。榎木さんは竹田城跡に舞台セットを組んで撮影された映画『天と地と』で主演を務めた朝来市にゆかりのある俳優で、画家としても活躍しています。映画、テレビ等のロケ地を訪問し、日本国内はもちろん世界各国を訪れる榎木さんは、ロケの合間のわずかな時間を利用して水彩画スケッチを描き続けています。熟練されたタッチで仕上げられた軽やかな筆づかい、そして透明感溢れる色彩感覚からはゆったりとした時間が流れ、見る人を旅の世界へと誘います。

榎木さんの展覧会は今回で2回目。好評だった前回は世界各地の名所を描いた旅行記をテーマにした企画展でした。今回は国内47都道府県の風景画のほか、榎木さんの代表作でもある浅見光彦シリーズで訪れたロケ地で描いた風景画約100点のほか、浅見シリーズの台本等も交えて作品展示します。さらに、会期中には榎木さんのトークイベントも予定しています。どうぞお楽しみに。



これからの  
展覧会

## あさごの小さなフォトグラファー展2025

〈会期〉2025年3月15日(土)～5月6日(火・祝) 〈会場〉1階企画展示室

若い世代が、今や身近になっている「写真」で芸術を表現する機会とし、その豊かな感性に触れていただくことを目的とし、小学生から高校生までを対象とした公募展です。写真家・井上浩輝さんに作品審査をしていただく予定です。

### 【作品募集中】

現在、作品を募集しています。応募締め切りは1月31日(金)必着。詳しくは朝来市ホームページをご覧ください。あさご芸術の森美術館にお問い合わせください。

# NEWS トピックス

ASAGO ART VILLAGE

## アートで遊ぼう！ 2024夏

毎年恒例の夏休み企画「アートDE遊ぼう!」。今年もギャラリー四季彩で様々なワークショップを行いました。

7月27日は、木工作家・坂本収さんの指導による「木工クラフトに挑戦!」。様々な種類や形の木っ端で、のこぎり、電動糸鋸、金づちを使って思い思いに作品を制作。

ミニチュアハウスやトリケラトプスほか、アイデア溢れる作品が仕上がっていました。

釘の頭部が出っ張らないように、指の腹で確認しながらしっかり打ち込むなどのアドバイスも受けながら、親子で楽しそうに制作していました。



28日は、画家・コウノ真理さん、ガラス作家・冨田麻里さんの指導で「発砲スチロールで建物を作ろう」です。

ヒートカッターで成形し、様々なパーツをつけたり、着色したりしながら、パリオリンピックにちなんだエッフェル塔、学校や不思議な家など、それぞれバラエティ豊かな建物の作品を完成させていきました。



8月4日は、平面造形作家・椿野浩二さんと画家・椿野彩さんが「風景・ポスター・水彩・油彩で好きな絵を描こう」を指導。

こどもたちは、様々な技法の色の乗せ方などを教わりながら、花、昆虫、魚や風景など、楽しそうに絵を描いていました。夏休みの宿題もバッチリですね。



## 中学校の新人教諭が 美術館で実習

梁瀬中学校に勤務する新人教諭2人が、美術館で実習を行いました。

8月18日は、体育の池上亜衣教諭。29日は音楽の島田一葉教諭。それぞれ、美術館の受付、カフェ、監視、作品展示などの業務について実習しました。



島田教諭は、「沿道の作品にワクワクしながら美術館に来ました。芸術が地域に根付いている感じ。美術館にはこどもや家族連れがたくさん訪れていて、芸術に触れる機会があるのが良いですね。」と、美術館の印象について話しました。

## 観月会と 演劇祭の夕べ

あさご芸術の森美術館で9月21日、「観月の夕べ」と「豊岡演劇祭2024in朝来」のコラボレーションイベントを開催しました。

朝来市で初の開催となった「豊岡演劇祭」は、野外彫刻庭園で、岩下徹(ダンス)×梅津和時(サクソ/クラリネット)即興セッション『みみをすます(谷川俊太郎同名詩より)』と、うさぎストライプ『ゴールデンバット』の二つの演目を上演。



淀井彫刻との対話を取り込んだ即興セッションでは、動かない彫刻に息吹を感じる瞬間があり、またセッションに合わせて踊る女の子の姿も印象的でした。

美術館内で行った「観月の夕べ」は、「音がさねわのん」による、箏と尺八のソロ演奏やピアノとコントラバスを合わせた演奏もあり、「月と森と」をテーマに選曲された楽曲をしっとり演奏。



このほか茶道同好会による抹茶のサービス、キッチンカーによる食の販売、淀井敏夫常設展をご覧いただくナイトミュージアムも実施。美術館友の会の皆さんにもイベント運営を助けていただきました。

残念ながら月を愛でることはできま

せんでしたが、それぞれの心の中で月を感じ楽しんでいただけていたらうれしく思います。

## 花房さくら個展 アーティストトーク

9月28日、「花房さくら個展スタア!」の開催に合わせて、アーティストトークとサイン会を開催しました。

猫の彫刻で知られる花房さんですが、肖像彫刻ではなく、擬態した猫や擬人化した猫をモチーフとしています。猫の手を借りながら、誰かを元気にする方法を研究しているという花房さん。7匹のオスネコたちからなる、歌って踊るアイドル猫グループ「high seven」の作品一つひとつに込められたストーリーや、自身の制作スタイルなどについて語りました。

来場者からは、「可愛くて癒される」「温かさが感じられて感動した」といった声が聞かれました。



## 風と光のページェント 2024

10月19日と20日の両夜、あさご芸術の森美術館周辺で、ハロウィンをテーマにしたキャンドルナイトイベント「風と光のページェント」を開催しました。

彫刻庭園会場には朝来市内こども園や小学校の子どもたちが描いてくれた絵を飾ったキャンドルや美術館友の会による光のオブジェのほか、芸術文化観光専門職大学による多々良木ダム建設前の奥多々良木の暮らしや湖に沈んだ記憶を呼び覚ます「記憶の川」をテーマにした展示物(橋、

川、波のトンネル、小舟と大舟)を設置。会場の子どもたちとコラボして、これらの作品を周遊するアートパフォーマンスも繰り広げました。

会場内は幻想的なキャンドルの灯りと、色鮮やかな光の光線による装飾で、そのきらびやかな夜の空間演出に、あちらこちらで、ため息が漏れていました。回を重ねるごとに「仮装」してお越しいただくお客様が増えていて、会場も盛り上がっていました。



## バルビゾン村から タポナ村長一行が来館

11月1日から3日まで、朝来市と芸術文化交流の提携を結んでいるフランス・バルビゾン村からタポナ村長一行9名が朝来市を訪れ、市内の視察や学校訪問などを行い、市民と交流しました。

2日は、あさご芸術の森美術館で、淀井作品の観覧や、2025年にバルビゾン村で計画されている「バルビゾン派200周年アーティスト・イン・レジデンス事業」の打ち合わせも行いました。



これは、バルビゾンと交流のある国々のアーティストを招待し、かつての画家たちのように、バルビゾン村周辺、フォンテーヌブローの森で風景を描いてもらい、現地で作品展を開催するものです。

また、椿野浩二さんの指導による墨絵の制作体験も行いました。

タポナ村長は、「友好都市提携は実を伴う形であるべき」とし、「朝来市とも、教育と芸術にとどまらず、今後は様々な分野の人的交流を含めた活発な交流ができることを望んでいる」と話しました。

芸術をまちづくりの要とする両市にとって、共通する課題もあり、交流によって、ともに前進していくことが期待されます。



## あさご芸術の森 アートマーケット2024

11月17日、毎年恒例の「あさご芸術の森アートマーケット」を美術館彫刻庭園で開催しました。

アクセサリ、小物、工芸品など、様々なジャンルの手作り作品に出合える「芸術市」、アート体験ができる「ワークショップ」や、いろいろなメニューが揃う「うまいもんブース」のほか、芸術文化観光専門職大学の学生サークル『なまおと』による「あきおとコンサート」、指令書に従って芸術の森の作品を撮影して回る「フォトラリー」、美術館友の会によるお菓子の雨が降る「芸術の森クイズ」など、盛りだくさんなイベントで、芸術の秋、食欲の秋の一日を満喫していただきました。



# スケジュール 2024.12 → 2025.3

## Schedule

| 月  | 日   | 曜   | 内 容                           | 対 象   | 期間・時間など | 掲載ページ |
|----|-----|-----|-------------------------------|-------|---------|-------|
| 12 |     | 開催中 | アート2025千支展「巳」                 | 一 般   | 1月13日まで | 4     |
|    |     |     | 2025千支絵手紙コンクール作品展             |       |         |       |
|    |     |     | 美術館コレクション展～あさごアートコンペティションの軌跡～ |       |         |       |
|    | 募集中 |     | あさごの小さなフォトグラファー展2025 作品募集     | 小中高校生 | 1月31日まで | 5     |
|    |     |     | あさご芸術の森美術館友の会会員交流美術展 作品募集     | 会 員   | 2月3日まで  |       |
| 1  | 23  | 木   | 全国こども絵画選抜展 巡回展(アートホール神戸)      | 一 般   | 1月28日まで | 3     |
|    | 25  | 土   | ～朝来からの風～朝展2025                | 一 般   | 3月2日まで  | 5     |
| 2  | 15  | 土   | あさご芸術の森美術館友の会会員交流美術展          | 一 般   | 3月2日まで  | 5     |
| 3  | 2   | 日   | ～朝来からの風～朝展2025                | 受賞者   | 午後3時～   |       |
|    | 15  | 土   | ～微笑む景色～榎木孝明展                  | 一 般   | 5月6日まで  | 5     |
|    |     |     | あさごの小さなフォトグラファー展2025          |       |         |       |

### あさご芸術の森美術館友の会 会員の近況

★藤本イサム・満里子

▶「だんだん展」(グループ展) 会期…12月3日(火)～9日(月) / 会場…ギャラリー左司馬(京都市)

(以下は第76号未掲載分)

★井上信行

▶井上信行写真展「蓮物語」 会期…7月4日(木)～10日(水) / 会場…県立但馬文教府ギャラリー

★磨野郁子

▶「Emz Art(エムズ アート)展」 会期…5月21日(火)～26日(日) / 会場…ギャラリー翔(京都市)

▶「同じ刻を生きる作家展9」 会期…6月4日(火)～9日(日) / 会場…京都市美術館本館2階南東エリア

▶「第77回女流画家協会展」 会期…6月6日(木)～13日(木) / 会場…東京都美術館

▶「妙なる箱展10」 会期…6月23日(日)～7月7日(日) / 会場…space妙(京都市)

#### 【年末年始の美術館】

美術館は12月25日(水)から1月5日(日)まで休館します。2025年は1月6日(月)から開館します。



あさご芸術の森美術館

ASAGO ART VILLAGE

〒679-3423 兵庫県朝来市多々良木739-3

TEL(079)670-4111 FAX(079)670-4113

http://www.city.asago.hyogo.jp/

E-mail : art-village@city.asago.lg.jp

